

デジタル教科書指導案／地理的分野

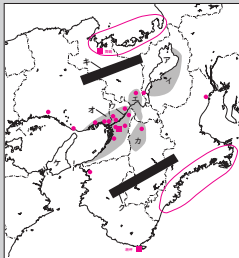
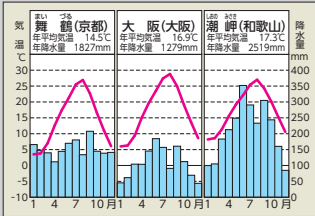
1. 題材 p.206-207 近畿地方の自然環境
2. 目標 (1) 近畿地方は地形や気候の特色から、大きく三つの地域に分けられることを理解できる。
(2) 近畿地方では、中央部に平野や盆地が広がり、人口が集中していることを理解できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・ 近畿地方の人口分布の特色を地形との関わりから理解している。
思考・判断・表現	・ 近畿地方の気候が北部・南部・中央部で異なる理由を、近畿地方の地形の特色から考察し、表現している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
節の見通し	0. 京都、奈良、神戸の写真を題材にし、「節の問い」への見通しを持つ。	 p.205 4  p.205 5  p.204 3 写真について知っていることを挙げてみよう。 「節の問い」について、学んでみたいことや、疑問に思ったことを自分の言葉で表してみよう。 解決のために、何が分かればよいか、どのようなことを調べればよいかなど、見通しを立てよう。	○ 近畿地方の歴史的景観と神戸の写真を題材にし、節の学習の見通しを持たせる。 ◆ 京都や奈良には歴史的な建造物が多いことに気付かせる。 ○ 「学習の見通し・振り返りシート」へ記入させ、節の学習の見通しを持たせる。
導入	1. 琵琶湖について知っていることを発表しながら、本時の課題をつかむ。 2. 琵琶湖の位置や大きさを確認し、学習課題への見通しを持つ。	 p.204 1  p.206 1 琵琶湖について知っていることを挙げてみよう。 琵琶湖の位置と大きさを地図帳から確認してみよう。	○ 琵琶湖について知っていることを発表させながら、本時への導入を図る。 ◆ 琵琶湖は近畿地方の北～中央部にあり、滋賀県の面積の約6分の1を占めていることに気付かせる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
学習課題：近畿地方では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。			

展 開	3. 近畿地方の主な地形の名称を確認し、北部と南部には山地、中央部に平地が広がることを理解する。 (1) 主な地形 (2) 山地と平野の分布 (3) リアス海岸 4. 近畿地方の人口分布の特色を考える。 5. 近畿地方の気候の特色について、舞鶴、大阪、潮岬の雨温図を比較し、違いを読み取る。	 ア～ケの名称を調べてみよう。 近畿地方の山地と平野の分布には、どのような特色があるのだろうか。  p.204 2 なぜ、志摩半島で真珠の養殖が盛んなのだろうか。  p.206 2  p.204 3 近畿地方の都市は、どこに分布しているのだろうか。  p.207 8  p.207 5  p.207 6 近畿地方の気候は、場所によってどのような特色があるのだろうか。	○ 学習プリントを活用し、近畿地方の主な地形の名称を調べさせる。 ◆ 北部と南部に山地があり、中央部の標高が低いところに琵琶湖と淀川があることに気付かせる。 ○ 大阪平野から琵琶湖までの標高が低い地域を中央部、南北の山地が多い地域をそれぞれ南部、北部とすることを補足する。 ○ 志摩半島で真珠の養殖が盛んな理由を考えさせる。 ◆ リアス海岸は、波が穏やかで養殖に適していることに気付かせる。 ○ 人口 30 万以上の都市の分布を確認させる。 ◆ 大阪湾沿岸や大阪平野に集中していることに気付かせる。 ○ 近畿地方の雨温図の都市の位置を確認させ、それぞれの都市の気候の特色を考えさせる。 ◆ 北部は冬の降水量、南部は夏の降水量が多く、中央部は年間を通して降水量が少ないことに気付かせる。 ○ 近畿地方の中央部の降水量が少ない理由を考察させる。 ◆ 夏も冬も季節風が山地にさえぎられることに気付かせる。
整 理	6. 本時のまとめをする。 7. 学習課題への振り返りの活動を行う。	近畿地方の気候の特色を、北部・中央部・南部に分けて説明しよう。 「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。	◆ 近畿地方の気候の特色について、北部・中央部・南部で降水量が多い季節が異なることに着目して説明できたか確認する。 ○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。